

佐賀県の視覚障害教育を結ぶ



いよいよ今年度も残すところあとひと月となりました。高校ではちょうど今週末、小中学校でも1・2週間後に卒業式ということで準備に勤しんであることと思います。

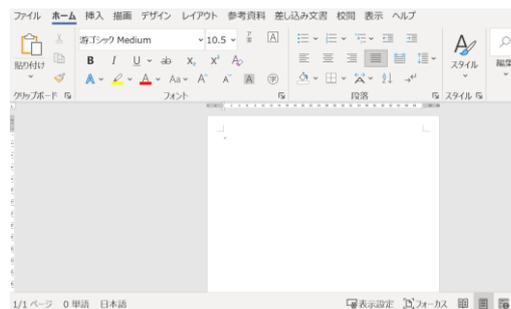
少し暖かい日が増えてきたとはいえ、寒暖差もありますのでお体に気を付けてお過ごしください。

パソコンの見えやすい設定

学校や家庭でもパソコンに触れる機会が増えて、目を酷使していると思います。少しでも見えやすい環境になるために、今回はパソコンの見えやすい設定についてお届けします。

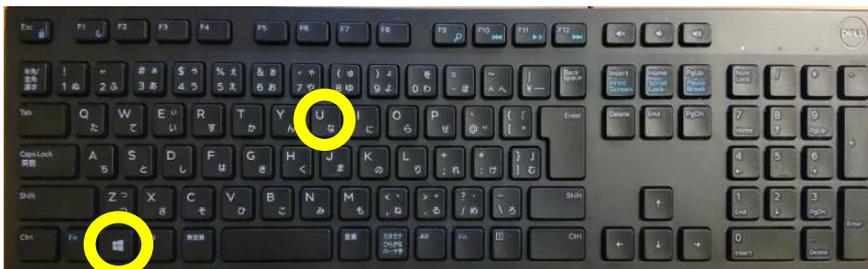
- 1 アイコンなどのテキスト(文字)のサイズを変える
- 2 マウスのポインタ(矢印)の色とサイズを変える
- 3 コントラスト(白黒反転)を変える
- 4 テキストカーソルを変える

1 アイコンなどのテキスト(文字)のサイズを変える

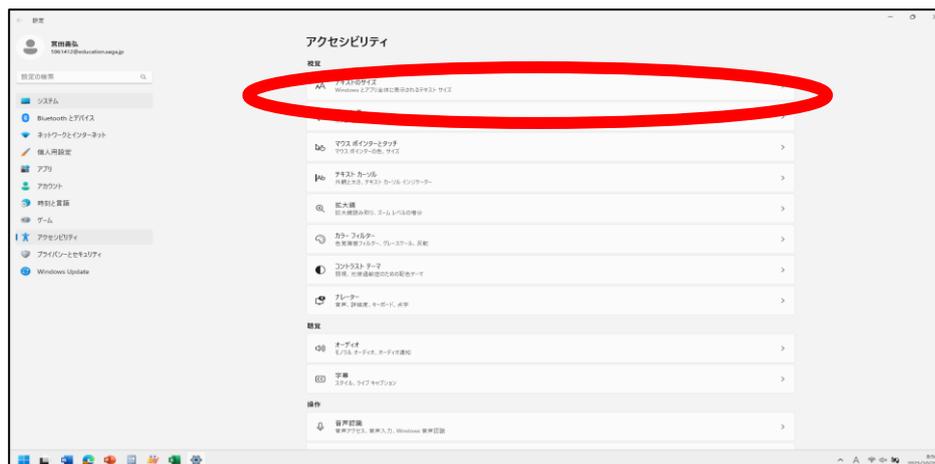


左図のようにアイコンやウィンドウ内のテキスト(文字)が大きくなります。図ではわかりにくいですが、wordなどのリボン内の文字も大きくなります。

- ① 「ウインドウズキー」と「U」を一緒に押す。



- ② 「アクセシビリティ」の画面が立ち上がる。



- ③ 一番上の「テキストのサイズ」をクリックする。

下の画面が出てきます。

- ④ サイズを変える（大きくする）

ここで調整します。あまりサイズを大きくすると、（特にアイコンなどは）文字が重なって見えにくくなることもあります。良い大きさを探して、その%を覚えてください。

「適用」をクリックする。文字が大きくなります。



2 マウスのポインター（矢印）の色とサイズを変える

マウスポインター（矢印）がどこにあるのかわからないという声をよく聞きます。ポインターの大きさや色を変えるととてもわかりやすくなります。

- ① アクセシビリティを開きます。

- ② 上から3番目の「マウスポインタとタッチ」をクリックします。





すると左のような画面になります。

③ マウスポインターを変更する

はじめに「マウスポインターのスタイル」を変えます。自分の見やすいもので良いですが、ここでは黄色にしてみます。
一番右の黄緑の矢印をクリックします。

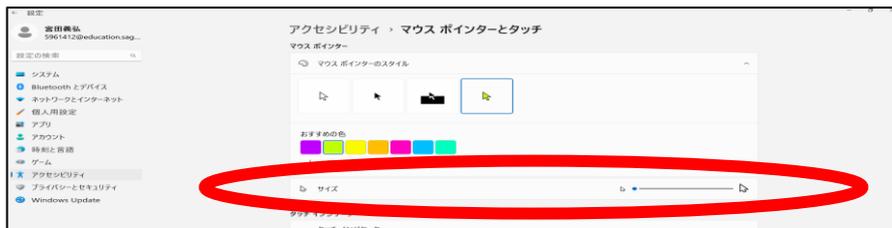
黄色をクリックします。



これでポインターの色が黄色に変わります。

④ サイズを変更する

次に大きさを変えます。「サイズ」で調整します。
丸を動かすとポインターのサイズが変わります。5～10 くらいでよいのではないかと思います、使いやすいサイズを設定してください。



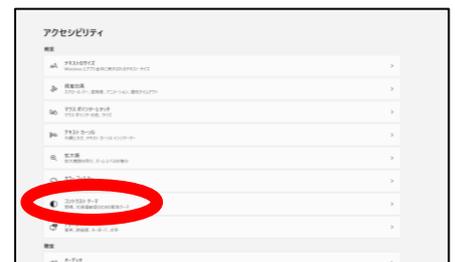
3 コントラストを変える（白黒反転）

スマホなどでも「ダークモード」と言われる白黒反転した表示を使用している人が増えています。
PCでも白黒反転の表示が見やすいと言われることは多いので試してみてください。

① 「アクセシビリティ」を開きます。

② コントラストを変える

上から7番目の「コントラスト テーマ」をクリックします。
「コントラスト テーマ」が立ち上がります。



この中から一番右の「夜空」を選びます。
右側にある「なし」になっているところの、右にある
下矢印をクリックします。



すると5つの候補が出てくるので
上から3番目の「夜空」を選び
クリックします。



「適用する」をクリックします。
すると画面が反転します。



反転した画面は右図のようになります。



4 クロームブックのテキストカーソルを変える

生徒用の端末としてクロームブックを使用されている学校もあると思います。

WindowsPC ほどではありませんが、クロームブックでもアクセシビリティ（ユーザー補助）機能の変更により、見えにくさのある児童生徒も使いやすくなります。

① カーソルの変更

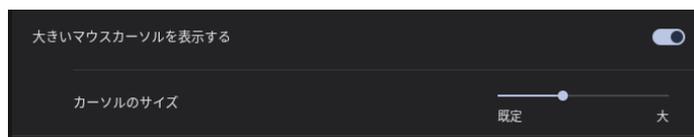
クロームブックのホーム画面から「設定」アプリを開きます。

設定ウィンドウから「アクセシビリティ」をクリックします。

次に「アクセシビリティ機能の管理」をクリックし、「カーソルとタッチパッド」を選択します。

ここで「大きいマウスカーソルを表示」をオンにすると、スライダーでサイズを調整できます。

また、カーソルの色も「黒」以外に「赤」「黄色」などいろいろな色が選択できます。

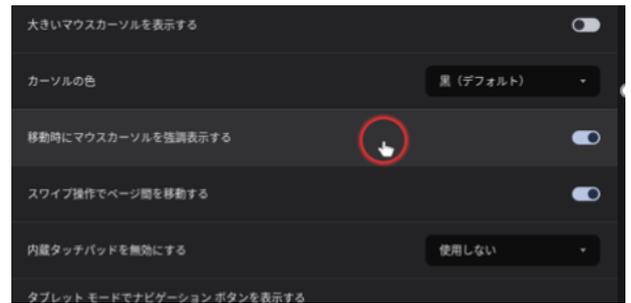


また、「移動時にマウスを強調表示する」を選択すると、マウスポインターの周囲に赤いサークルが表示されわかりやすくなります。

② 「ディスプレイとテキストのサイズ」変更する

クロームブックのホーム画面から「設定」を開きます。
「デバイス」から「ディスプレイ」を選択します。
「ディスプレイとテキストのサイズ」のスライダーで調整します。

スライダーを右側に動かすとアイコンや文字が大きくなります。



なお、「ディスプレイとテキストのサイズ」は、ショートカットでも変更することができます。

画面を拡大する: `ctrl + shift + =`
画面を縮小する: `ctrl + shift + -`
デフォルト (初めの設定) に戻す: `ctrl + shift + 0`

より大きくしたい場合は「拡大鏡」を使用することになります。

「全画面拡大鏡」

画面全体を最大 20 倍まで拡大します。マウスの動きに合わせて画面がスクロール（動き）させることもできます。

「ユーザー補助」を選択し、「表示」で「拡大鏡（全画面）」をオンにします。

次に拡大した画面での移動方法を選択します。

マウスに合わせて移動させる場合

「マウスの動きに合わせて画面を移動する」をオンにします。

「ドッキング拡大鏡」

ドッキング: 画面の上部 3 分の 1 だけに拡大画面を表示し、下半分は通常の倍率で表示します。全体のレイアウトを確認しつつ、入力画面を追うのに適しています。

「表示」で「拡大鏡（ドッキング）」をオンにします。

ズームのレベルを選択するには、「ドッキング画面のズームレベル」の横にある「↓」を選択します。

* ドッキング拡大鏡は、使用にやや慣れが必要かもしれません。使いこなせば便利なものですので自立活動の時間などで練習をしてみてください。

他にもより見えやすくなりやすくなる方法や設定はあります。

見えにくさのある児童生徒たちに有用なものもあると思いますので、お困りのときは気軽にお問い合わせください。

来年度に向けた引継ぎについて

児童生徒が安心して学習できるためにも、引き継ぎはとても大切なものです。今回は引き継ぎのための資料について取り上げます。まず、既存の資料をいかしましょう。

- 個別の教育支援計画
- 個別の指導計画
(取り組んできたことをできるだけ具体的な言葉で書くと、より伝わるかと思います)
- 通知表の控え(コピー)
- 見え方に関する実態(保健室と連携して準備)
- 教育課程
- 学習状況の記録
(視覚補助具の使用状況や使用方法、配慮事項やその手立て、学習進度やテストなどについて)

弱視学級担当の先生方や保健室で、見え方やその他の実態についてまとめられた資料は重要な引き継ぎ資料になります。次に担当される方が対象の児童生徒や視覚障害教育に携わられたことがないことを前提に作成されると、どんな方が担当されても困られないのではないかと思います。

また、できるだけ引継ぎは新旧の担当者同士が顔を合わせて行うのが良いのですが、難しい場合は特別支援教育コーディネーターや学年主任、交流学級の担任、管理職などに協力してもらい、次の担当者にきちんと伝えられるようにしておきましょう。資料をひとつにまとめてファイリングし、異動されない他の先生を通して渡す方法も良いと思います。

進学して校種が変わる場合も、最近は引継ぎをする場を設けることが多くなっています。

必要であれば保護者にも協力を仰ぎ、スムーズな接続ができるようにしましょう。また、盲学校が参加することも可能です。

佐賀県立盲学校

電話 (0952) 23-4672

FAX (0952) 25-7044

代表メール mougakkou@education.saga.jp

お気軽に御連絡ください。巡回相談の依頼も受け付けています。